

表16. 収支実績表

項目	年度	昭55	昭56	対比
宿 泊	入	千円 45,411	千円 48,720	% 107
会 議	入	27,387	29,607	108
宴 会	入	64,792	61,369	94
婚 礼	入	95,527	134,753	141
そ の 他	入	22,257	24,928	112
商 売	品	60,813	75,775	124
利 息	他	3,727	3,427	92
収 入 計		319,914	378,579	118
人 件 費		109,371	108,346	99
材 料 費		106,966	132,680	124
営 業 費		74,474	79,863	107
引 当 金		44,476	43,483	97
本 部 送 金		38,354	38,557	100
支 出 計		373,642	402,929	107
損 益		△53,728	△24,350	45

表17. 利用人員

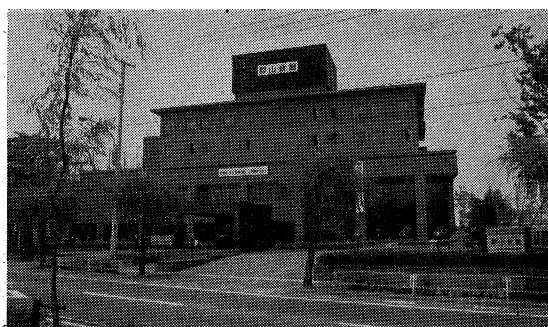
項目	年度	55	56	対比
宿 泊	人	11.377	11.530	101
会 議		32.461	26.483	81
宴 会		17.038	16.160	94
婚 礼		11.101	14.255	128
グ リ ル		35.402	37.804	106
婚 組	礼 数	109	137	125

重点目標
一 親しめる会館としてのPR

私共はこれらの大原則にのっとりながらその遂行に次のような重点目標と営業方針で努力しております。

なんとといっても基本的なものは、福祉性と経済性を調和させながら運営していかなければならないと考えております。

間との格差が少なくなりつつある。サービスが行き届かないとか、いろいろ批判がでてきているなど、組合員の要望も多様化している。そして何を如何にしてそれに応えていくかが大きな課題となっております。



郡山会館前景

表15. 昭和57年度予算概要

(単位千円)

収 入 の 部			支 出 の 部		
種 別	金 額	割 合	種 別	金 額	割 合
会 員 掛 金	885,618	80.9 %	短 期 給 付	384,000	35.0 %
県 補 助 金	80,200	7.3	公 益 事 業	3,185	0.3
事 務 費 負 担 金	835	0.1	厚 生 給 付	120,258	11.0
預 金 利 息	15,625	1.5	厚 生 事 業	133,715	12.1
積 立 金 そ の 他	111,717	10.2	長 期 給 付	169,320	15.3
			事 務 費	104,341	10.0
			出 資 金	6,267	0.6
			積 立 金 そ の 他	172,909	15.7
計	1,093,995	100.0	計	1,093,995	100.0

の途中に職員が四名程退職した結果です。
 損益の面では三回目の決算報告でございますが欠損となりました。前年対比では五五パーセントの減になっておりますが二千四百三十五万の欠損金で繰越すことになりました。
 利用人員についてみると、表17の通りですが会議で十一パーセント六、〇〇〇人の減で、宴会では〇・六パーセントの減となっております。
 グリルは六パーセントの増ですが、これは、内部の一部畳敷きを造ったこと、ラーメンを始めたこと、営業時間を夜九時までと一時間延長、昼食のサービス献立の作成などが原因していると思われる。
 かんたんに昭和五十六年度の実績をみたが、組合員の福利厚生施設といっても最近はこちらに類する施設が非常